

令和5年4月18日 実施 (6年生)

教科	国語	算数
本校平均	68	71
広島県平均	69	64
全国平均	67.2	62.5

	結果から見えてきた重点課題	指導方法等の改善内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○図表やグラフなどを用いて、自分の考えがわかるように書き表し方を工夫すること。 ○日常よく使われる敬語を理解すること。 ○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○読書を推進し、よい文章に触れる機会を増やす。また、情報量の多さに対応できるようにする。 ○手本となる文章を視写することで、まとまりのある文章を書くことに慣れるようにする。また、自分が書いた文章を読み返して訂正する習慣をつけるようにする。 ○言語事項について、繰り返し折に触れて指導する。 ○日ごろから（教師・児童ともに）敬語を使う機会を増やす。 ○インタビューの経験をさせる。 ○読書について、読み継がれている本を選書するようにする。 ○教師等による「お勧めの本コーナー」を設けて、読書を推進する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○三角形について、高さや底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、理由について記述すること。また、正三角形や台形の意味と性質について理解すること。 ○百分率で表された割合について理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○具体物を操作する経験を重ねて、実感を伴った理解（算数用語についても同様に）を図る。 ○条件不足・条件過多の問題を取り上げ、必要な情報を見つけて活用させる。 ○数学的な見方・考え方に着目して、日常生活と結び付ける。 ○思考を巡らせるコーナーを教室に設けるなど、日常的に思考したり体験したりできるような機会を工夫する。 ○あきらめずに次の一手を講じる意識を高めさせる。 ○問題をよく読み、問題の意図（選択肢・百分率の意味）をしっかりと把握させる。